



編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 532111 (代表) 内線40



▲今年7月完成した「水子地藏堂」



今年も県内外からの参拝者で賑った

川倉賽の河原大祭(八月四日～六日)

下北の恐山とともにイタコの口よせで知られる川倉賽の河原例大祭が、八月四日から六日(旧暦六月二十二日～二十四日)まで行なわれ、県内外からの参拝者約六万人(講中発表)で賑わいをみせました。

肌寒かった異常低温も初日の四日には、すっかりと夏の空模様に変わり、本堂裏のテント掛け小屋ではイタコ八人が数珠を手に、亡き親兄弟の話を伝え、これに熱心に耳を傾けながら聞き入り涙ぐむ姿が印象的でした。

また、今年は金木桜まつりに次いで川倉賽の河原講中でも暴力団関係者の境内立ち入りを禁止するとともに、指定された路店七店と、商工会婦人部のテントに制限しました。

夏の防犯

願い込め 催し多彩

七月二十一日から全国一斉にスタートした夏の防犯運動と交通安全運動では、当金木町においても多彩な催しが行なわれ、地区ぐるみの防犯、事故防止を訴えました。

交通安全

金木町交通安全対策協議会（会長・大橋忠勝町長）は、「町民一人ひとりが、ルールを守って、事故のない町に」と去る七月二十



▲中里町長から交通安全リレー旗を引き継ぎする大橋町長

二日、安協や交通安全母の会、防犯指導隊など車輛十台による町内一円の車列パレードを保健センター前より出発。引き続き、金木

幼稚園（片岡八千雄園長）の園児百二十人、父母百人による「子供ねぶた」も運行されました。はんでん、ハチマキ姿のかわいい幼稚園児が、「ヤーレ、ヤーレ」の掛け声も勇ましく交通安全、防火、防犯を強く呼びかけました。同時に、安協川倉支部婦人部（松橋りき部長）が手づくりのティッシュ入れカバー二百個を川倉地区でドライバーに配布、非行の防止と無事故を訴えました。



▲「ヤーレ、ヤーレ」の掛け声で防犯・防火を呼びかけた金木幼稚園児



きも行なわれ、「地区町村力を合わせ、地道に息の長い運動を展開」することを誓い合いました。また、七月二十五日には金木中央公民館で防犯リレー旗の引き継ぎ式が行なわれ、蟹田地区防犯協会会長から金木地区防犯協会会長（会長・大橋町長）へリレー旗が引き継ぎされ、「犯罪のない明るい町にしよう」と呼びかけました。

夏の重点項目

- 一、子供と高令者の交通事故防止
- 二、無謀運転・特に若年運転者による飲酒・暴走運転の追放
- 三、二輪車（原付含む）の交通事故防止
- 四、正しい方法によるシートベルト・ヘルメット着用の徹底

交通安全年間スローガン

（運転者（同乗者含む）向け）守ります ベルトに速度に 車間距離
（歩行者・自転車乗用者向け）安全へ つなぐ老いの

交通事故相談所

交通事故にあつたら一日も早く県交通事故相談所に相談して下さい。専門の相談員または弁護士が無料で相談に応じています。休日を除き毎日午前九時から午後四時まで開いています。電話でも結構です。

県交通事故相談所
青森市新町二丁目三一
県庁別館（☎〇一七七―
二二―一―一 内線五四
四一）
気軽にご相談下さい。



▲手作りのティッシュカバーをドライバーに配布する安協川倉支部婦人部員

金木に名所また1つ……

「津軽三味線塚」 建立

～金木 白川兼五郎さん自費で～



▲三味線塚に墨入れ(魂入れ)する白川兼五郎さん

いた人が 神原の仁 太坊であ った。芸 の鬼であ った仁太 坊の八人 芸はとて も有名で、 多くの少 年が津軽 一円から 弟子入り をし、そ の中でも 嘉瀬の桃

津軽三味線の発祥の地金木町にぜひとも「津軽三味線塚」を建立し、津軽三味線の元祖・神原の仁太坊をはじめ有、無名の坊や弾き手たちの霊を供養するとともに、後世にその功績を残そうと七月三十一日、川倉賽の河原境内で入魂式が有志約八十人で行なわれました。

この塚を自費で建立したのは、元金木郷土史編さん委員長を務めた白川兼五郎さん。

塚は、賽の河原境内救世観音様の隣地に縦一・一メートル、横一・五メートルの長方形のみかげ石を大きな岩木山の自然石の上に載せたもので、碑文は弘前市

の大條和雄さん(津軽三味線作家)、揮毫(書くこと)された人は同市佐藤中隠さん(県内での書家の第一人者)。

「神原の仁太坊、昔、いい男、今ではジャドコ(坊様)……」ではじまる碑文は、社会の底辺に生きた人が坊様であり、三味線の基礎を築



▲坊様三味線を披露する作家・大條和雄氏(中央)

桃 すなわち黒川桃太郎と白川軍八郎だけであった。嘉瀬の桃は八人芸をやったが軍八郎はやらなかった。しかし、軍八郎のタキキ三味線の音色は、いまま愛弟子(まなでし)の三橋美智也の三味線の中に生きているのである。

このように仁太坊が没して一世紀後の今日、全国のファンを感動のるつぼの中におく津軽三味線の魅力は、津軽の土の中から掘り出した天才・仁太坊の功績が実に偉大なのである。

不世出の名人不動林の白川軍八郎が坊様の門付け三味線から独奏の津軽三味線への成立過程に絶大な功績を残した。津軽三味線に生命をかけた坊様、弾き手たちを永遠にめい福する内容のもの。

入魂式では、仏事のあと大條さん自ら坊様から三味線を習うときの基本を弾いて披露、続いて木田林秀栄社中七人が大條さん作詞、本県出身の作曲家小山内たけともさん作曲の「演歌芸鬼仁太坊」が披露され、先人たちに思いをはせていました。

安政四年(一八五七)に父秋元三太郎の長男として神原に生まれる。本名、秋元仁太郎。民謡の名手。仁太坊として有名である。

彼は、両眼失明で坊様であったため「仁太坊」という名前がついた。七才のある日、三味の音色に非常な興味を示し、父に三味線を習うことを許してもらった。

三味を手にした少年はたちまち周囲が驚く程の音色を出した。この盲目の少年こそが、津軽三味線と津軽民

民謡の名手
神原の仁太坊とは……
金木今昔物語より抜粋

謡の源流をつくり出した名人仁太郎の幼なき姿であった。

若い時分の仁太坊を知っている人の話だと、仁太坊のはやしたててビョン、ビョン叩く三味線と八人芸(太鼓、笛、尺八と見事な使いわけの芸)に黒山の人だかりだったという。地方の人はめくらの人をジャドコといい、仁太郎を仁太坊とも座頭の坊ともいった。

仁太坊の弟子は「嘉瀬の桃」すなわち黒川桃太郎と白川軍八郎だけであった。

迫力十分東北太鼓合戦 津軽の火祭り



▲弘前じよっぱり太鼓



▲大館曲げわっぱ太鼓による地吹雪太鼓



▲森田石神太鼓



▲に組囃子同志会金木支部によるねぶた囃子

冬の地吹雪、春の桜吹雪と並ぶ「夏の火吹雪」を今後町の名物にしようとして七月三十日、役場前をメイン会場に「津軽の火祭り」が今年初めて開かれました。
会場は、上町、下町通りを歩行者天国としたこともあり、約六千人の見物客が繰り出しました。
午後六時、に組囃子同志会金木支部によるねぶた囃子、新富町々内によるねぶ

地吹雪

太鼓登場!



▲「たいまつ」に点火する大橋町長

「東北太鼓合戦」がはじまりました。森田石神太鼓、弘前じよっぱり太鼓などが会場を沸かせた後、曲げわっぱを使った太鼓で全国的に高い評価を得ている秋田県大館市の「大館曲げわっぱ太鼓」が登場し、今回初公開された「地吹雪太鼓」大館屋内ばやしなどを演奏

夏まじり



▲メイン会場役場前の人、人、人…

園児大喜び!

第七回子供納涼まつり

～金木第三保育所～



▲金木さなぶり荒馬も大ハッスル!

去る八月二日、金木第三保育所(伊藤権雄所長)と母の会(松川つえ子会長)の共済で子供納涼まつりが保育所前庭で開かれました。この日は、午後二時三十分から子供花火大会、親子フォークダンスなどが行なわれ、「お買物ごっこ」では園児がお金の代りに先生から渡された「お買物券」でアイスクリームやおでんを盛んにいっぱい買っていました。ほのぼのとした親子のふれ合い——とても印象的でした。

に、会場いっぱい詰めかけた見物客から熱狂的な拍手を浴びていました。
また、「歩行者天国」ではあすなる商店会による路上ワゴンセール、太宰ふるさ会による奴デイスコ・太宰デイスコの披露、金木町青年団によるスナックラリー、役場前では金木消防署による四十メートル級のほしご車試乗など盛りだくさん。イベントに、町内外から訪れたたくさん見物客は、ようやく訪れた夏を満喫していました。



▲40m級のはしご車にこわわ試乗する見物客

これが金木の自然・文化・物産

大好評だった「津軽半島祭」参加



▲メイン会場の五所川原市民体育館



▲展示即売された金木の物産品の数々

去る七月二十九日から三日間にわたって開催された「津軽半島祭」は大好評のうちを終了しました。この祭は、津軽半島の二十市町村が結束、ロマンチック・ロードをキャッチフレーズに、五所川原市民体育館をメイン会場に各市町村の歴史、自然、観光、物産、児童絵画の展示と郷土芸能を発表、当金木町からは、太宰漬、ひばまな板、



は、太宰漬、ひばまな板、ひば曲物、梅干などの物産品即売。実演コーナーでは、金木風の会（成田勝義さん）による津軽風絵の出来るまでの実演、販売。瀬尾曲物工芸（瀬尾善明さん）による原木から完成品となるまでのヒバ曲物の製作工程と道

最高潮



▲金木駅で披露された太宰・奴デスコをものめずらしそうにみる子供達

のヒバ曲物の製作工程と道具の紹介、販売。また、嘉瀬の奴踊り保存会による「嘉瀬の奴踊り」を披露し、会場いっぱい盛んな拍手をあげていました。また、津軽鉄道で五所川原—中里間を往復する列車の旅で津軽の伝統人形劇「金多・豆蔵」を上演する間に金木駅に二十分間ほど停車し、太宰ふるさと会による太宰デスコ、奴デイスコも披露され、郷土色あふれるイベントに乗車客（百二十人）から盛んな声援が送られていました。

具の紹介、販売。また、嘉瀬の奴踊り保存会による「嘉瀬の奴踊り」を披露し、会場いっぱい盛んな拍手をあげていました。また、津軽鉄道で五所川原—中里間を往復する列車の旅で津軽の伝統人形劇「金多・豆蔵」を上演する間に金木駅に二十分間ほど停車し、太宰ふるさと会による太宰デスコ、奴デイスコも披露され、郷土色あふれるイベントに乗車客（百二十人）から盛んな声援が送られていました。



▲85才とは思えない原田九二郎さんの手踊り

この日は、入園者の七月誕生者を祝う会の一環として慰問されたもので、民謡、歌謡、手踊り、ダンスなど



入園者大喜び！
町老人クラブ嘉瀬支部
中里「静和園」慰問する

約一時間にわたって披露。老人とは思えない多種多様の芸にお年寄りたちは大喜びでした。また、入園者へ缶ジュース一〇本を慰問者からプレゼントされました。「これを機会に、ぜひまた来ます」と再会を誓い合っていました。



独占スポーツかなぎコーナー

金木中卒

3選手大活躍!!



▲角田貴昭選手(県大会優勝の日県営球場で)

**夏の甲子園出場
本当におめでとう!**
〜弘工 角田 貴昭選手〜

第七十回全国高校野球青森県大会決勝で八高に快勝した弘前工業高校野球部の当町出身選手をご紹介します。

この選手は、弘工二年角田貴昭選手(金木町朝日町)。二年生ながらレフト、六番の正選手。

今大会では、一回戦で思わぬアクシデントで捻挫したものの、持ち前のファイトで準々決勝、決勝と出場、弘工優勝に大きく貢献しました。

金木中卒——弘工では、昭和五十一年弘工センバツ初出場の時、四番で主将を務めた太田守信選手(県営浅虫水族館勤務)に続き当町二人目である。

夏は四十四年、三沢高以来本県では一勝がなく、県勢十九年ぶりの一勝悲願でありましたが、惜しくも宮崎県代表宮崎南高に八対四で敗れました。しかし、全員野球で精いっぱい頑張った弘工ナイン全員に大拍手を送ります。

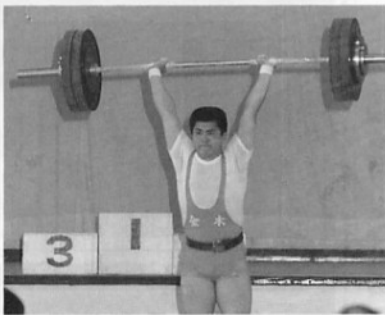
角田貴昭選手、本当にご苦労様でした。

第15回東北総体県予選会 兼 第43回国体第1次予選会ウェイトリフティング競技選手権大会見事優勝!金木高

中村 透選手 (52kg級)
加藤 博選手 (82.5kg級)

— 金木町出身甲子園出場選手録 —

出場年	選手名	高校	出身中学校	町内名
昭45(夏)	花田 悟	五農	金木南中	嘉瀬上派立
"	野呂謹司	"	"	" 本町
"	山中 亨	"	金木中	若松町
昭51(春)	太田守信	弘工	"	米町
昭63(夏)	角田貴昭	"	"	朝日町



▲加藤 博選手



▲中村 透選手

去る七月二十四日、第五回東北総体県予選大会兼四十三回国体第一次予選会重量挙げ選手権大会が県立金木高校で行なわれ、当町出身二選手が見事優勝し、国体出場に大いに前進しました。

この二選手は、五十二キロ級でスナッチ七十キロ、ジャーク九十五キロ、合計百六十五キロを挙げた中村透選手(金高三年、山道町)八十二・五キロ級ではスナッチ百キロ、ジャーク百二十五キロ、合計二二五キロで優勝した加藤博選手(金高三年、芦野町)。

この二選手は、八月八日から兵庫県で行なわれるインターハイ、また八月二十六日から福島県で行なわれる東北ミニ国体に出場することになっており、この二つの大会での成績により、国体(県代表(三人))として出場するかが決定されます。中村、加藤両選手母校の名誉のため精いっぱい頑張ってください。

健全な心身 豆剣士腕競う

第一回金木地区防犯少年剣道大会



▲金木剣武館白川千恵子さんの力強い宣誓



▲「メン!」「ドウ!」……と熱戦を展開

剣道を通じて健全な心身を培ってもらおうと金木地区防犯協会（会長・大橋町長）が七月二十五日、金木小体育館で第一回金木地区防犯少年剣道大会を開催しました。

大会は、金木署管内の四町村と西部鯉ヶ沢町から十七チーム計九十人の選手が出場して行なわれました。

開会式では大会長の大橋金木町長が、「剣道を通じてたくましい、立派な人間

になって下さい」と挨拶したあと、金木剣武館の白川千恵子さん（喜良市小五年）が、「礼を守り正々堂々、戦います」と力強い選手宣誓して試合開始しました。

見守る父母たちから大きな声援が送られる中、豆剣士たちは自分の身長ほどもありそうな竹刀を自在に使いこなし「メン!」「ドウ」と熱戦を展開していました。

金木関係出場選手の結果は次の通り。

- ◇団体戦四年生以下の部
- ②金木剣武館
- ◇同五、六年の部
- ①金木剣武館A ②同B
- ◇個人戦一、二年の部
- ①菅原浩（金木剣武館）
- ②原田健吾（同） ③一戸俊哉（同）
- ◇同三、四年の部
- ②小野貴史（金木剣武館）
- ◇同五、六年の部
- ①相坂和恵（金木剣道館）
- ②一戸郁哉（同） ③相内範彦（同）。

～入園者楽しい一日過ごす～

あしの園大運動会

川倉小グランドで



▲仮装競技で頑張ったおじいちゃん

去る七月二十四日、特養老人ホームあしの園大運動会が川倉小グランドで行なわれました。

この運動会は、参加者全員が協調性を養うことや残存機能を生かすことにより、日常生活においても自立性を高めることを目的として行なわれているもので、この日は入園者と家族のふれ合いで、楽しい一日となりました。



▲青空のもとで行なわれた大運動会



優勝した金木老人クラブメンバー

(写真後列左から)

津島金太郎 白川キエ 中谷義正 白川義正

成田良一 小笠原真之助 秋元アネ

ゲートボールの技術向上、老人の親睦を図る第六回北郡老人クラブ連合会ゲートボール大会が七月十四日金木小グランドで行なわれました。

この日の大会には、北郡六町村から二十四チーム約百五十人が参加し、金木老人クラブは他のチームをよせつけず見事優勝しました。

第六回北郡老人クラブ連合会ゲートボール大会
金木老人クラブチーム 見事優勝!!



▲今年の出来具合について説明する金木農協職員

糖度十分 金木特産「えびすカボチャ」 目ざろい会開催される

～金木農協喜良市支所～

「糖度が高く、高級料理にも使える一級品」と、いまや東京市場より折り紙がつけられるほどまでに成長した金木特産「えびすカボチャ」の目ざろい会が、七月二十日金木農協喜良市支所で開かれました。

目ざろい会は、良質品を厳選して出荷するなめ、農家が持ち寄ったカボチャの品質を判定、選果の基準を徹底しようと、毎年開かれているもので、この日は五十人の農家がサンプルを持

ち寄り今年度の出来具合を検討しました。

えびすカボチャの生産は、四十六年から米との複合野菜として喜良市地区を中心に始まり、現在、町内五十戸の農家が合わせて約二十ヘクタールを栽培しています。

昨年は春先の凍霜雪の影響で単収千四百キロに落ち込んだが、今年は六月までの順調な天候に支えられたこともあって作柄がよく、単収二千キロを見込んでいます。「L」で十キロ当たり千八百円から二千円で取引きされるものと関係者は期待していました。

今年の初出荷は七月二十五日で、八月上旬をピークに主に東京市場を中心に出荷されました。

「えびすカボチャは市場からの出荷要請が高く、今後四十ヘクタールの面積を確保したい。それだけに、銘柄の評価を更に高めるために、徹底した厳選出荷したい。」と泉谷照正金木農協専務の抱負でした。



▲自慢の手づくり水車前での舂甚さん

特産ヒバ材使用

手づくり水車で引水——伝統の原点継承

アイデア考案した舂甚さん（嘉瀬）

整然と区画整理された田んぼの中にくるくると回るものがあつた——。今ではほとんどみられなくなった水車がこの広大な津軽平野のど真中にありました。

うやく実現できたそうです。当初は、水力利用にすればよいか迷ったそうなのですが、風力の場合、風がある程度強くないと風車が回らないため最終的に水力利用にしたそうです。

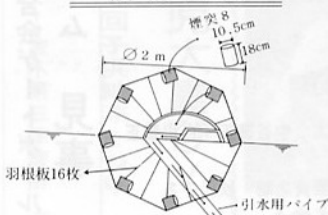
千円位だったとか。ここまでこぎつけるまでは本人も大変苦労したそうで、最初八枚の羽根板（水の流れをうける板）で試してみたが回らず、二倍の十六枚にしたらようやく回りはじめ、その時の感激はひとしおだった——とか。

このめずらしい手づくり動力水車に取り組んだのは、嘉賀の外甚頼壮さん。製作する最初のきっかけは、用水の水温が低いため、多少でも水温の高い排水から引水しようと数年前から考えていたもので、今年の春よ

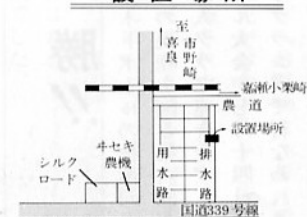
また、この手づくり水車に使われた材料のヒバ材は買ったものの、水が入る缶は古い煙突を利用、水が入れるパイプも自宅にあつたパイプ（〇七五ミリ）を利用したため、総製作は約二

ただ、難点は、水路から入ってくる草が引水用パイプに詰まることとか……。直経二メートルの水車が急速回転する姿は迫力十分。津軽の田園風景の中にあつた手づくり水車、とてもこころが和む気分でした。あたたも一度近くまで行って見て見ては……。

設計略図



設置場所



おしらせ

第2回「金木町の発展を考える懇談会」

農業、商工業、観光、教育などについて日頃考えている御意見をどしどし和やかに話し下さい。

◎日時 8月26日(金)午後1時

◎場所 役場3階大会議室

※第1回では、貴重な御意見ありがとうございました。

今回は、女性の方、青年の方の参加をよろしくお願い致します。

ボランティア募集

町ではボランティアを募集しています。下記のうちの項目でも結構です。ご奉仕して下さい方はご連絡下さい。

記

- ◎墓地公園樹木の枝切り
- ◎ " の草取り
- ◎中央公民館松の枝切り
- ◎芦野公園桜・松・梅などの枝切り
- ◎ " の草取り
- ◎ " に樹木植栽
- ◎ " に花植栽
- ◎ " のゴミ拾い

また、植栽用苗木無料で提供して下さい方、お知らせ下さい。

役場企画室 ☎53-2111 内線39、40

民宿経営のご希望ありませんか

町内の旅館が満員の折、観光客を町内に停める為にはたくさんの民宿が望まれます。

「団体客が来町して旅館が満員の折は、自宅を開放して民宿の経営をしましょう」という希望の方はご連絡下さい。許認可、その他お手伝い致します。役場企画室 ☎53-2111 内線39、40

フォークリフト運転技能講習会

「最大荷重1トン以上のフォークリフト運転業務」の技能講習会を下記の通り開催致します。

1. 日 時

9月5日～9日までの5日間
午前9時～午後5時

2. 場 所

- (1)学科 西北労働基準協会
- (2)実技 五所川原中央青果

3. 受講料

1人 26,200円(但し、大型特殊自動車免許所有者9,200円)

4. 申込方法

西北労働基準協会(☎35-6336)に来協の上、所定申込書に記載のうえ受講料を添え申し込むこと。

芦野霊園規制墓地好評分議中

7月に増設された金木町芦野霊園規制墓地を好評分議中です。

墓地の区画	墓石の規格	分譲価格
開口 2.5m	墓石 台石 春柳 拝石	墓地・墓石 合わせて 392,000円
奥行 3.0m	墓石×50cm 台石×50cm 春柳×50cm 拝石×50cm	

※詳細及び希望者は、役場民生課までお問い合わせ下さい。

☎53-2111 内線18



青森県信用保証協会から

金木町では、地元企業の振興育成のために青森県信用保証協会と協調して次のように保証融資制度を実施しています。

▷簡易小口資金

保証金額 500万円
期 間 5年以内
利 息 年率6.9%以内
保 証 料 年率0.95%

▷近代化資金

保証金額 1,000万円
期 間 7年以内
利 息 年率6.9%以内
保 証 料 年率0.95%

このほか、青森県保証協会では中小企業者の経営の安定と事業の発展に必要な資金について各種保証制度の取扱いを行っております。

詳しくは、青森県信用保証協会五所川原支所(☎35-4121)へお問い合わせ下さい。

税の何でも相談

商工業、一般住民の皆さん、税に関する悩みや疑問がありましたらぜひ「税の何でも相談」を御利用下さい。たとえば、土地、建物の譲渡、相続、贈与に関する事、その他記帳や経営、税のことならなんでも結構です。

相談は無料です。お気軽にご相談下さい。

★と き 9月8日 13:30～15:30

★と ころ 金木町商工会

※相談者は予め9月6日まで金木町商工会へお申し込みください。

税理士による無料相談

税に関する心配事、こまり事がありましたら下記の日程で行いますので、どうぞ御気軽にご相談下さい。

記

◎8月25日 午前10時～正后

◎9月22日

場所はいずれも3階中会議室です。尚、相談者は予め金木町社会福祉協議会(☎53-2241)へお申し込み下さい。

税の豆知識

土地の税金は?

土地にかかる税金は、宅地・田・畑・山林・原野等の地目によって違います。

◎固定資産税(町の税)について

(1)土地には次の価格があります。

イ 評価額(登記課税の基礎となる価格、また使用する価格)

ロ 課税標準額(税金を計算するときの価格)

◎評価額について

評価額は課税標準額とは同じ価格ですが、多少異なることがあります。この価格は町内に標準となる場所を何所か決めてありますので、その標準となる土地の価格を中心にその周辺の価格が決まります。売買価格のおよそ6分の1ぐらいになっております。

また、この価格は登記申請及び税務署で使用する価格でもあります。

◎課税標準額について

宅地の場合は税金が安くなる特例があります。宅地に住宅が建っている場合と建っていない場合を比べると、住宅が建っている方が約半分ぐらい税金が安くなっています。ただし、大きな宅地に住宅が建っている場合はこの計算とはなりません。

また、この価格に1.4%を掛けると税金がでます。

※くわしいことは、役場税務課へお尋ね下さい。

☎53-2111 内線23(固定資産税係)

～8月の納税～

町・県民税2期の納期限は、8月31日です。

早目に納めましょう。

金木郵便局 新局舎 8月22日より営業開始

金木郵便局では、郵便局舎を新築中でしたが、この度完成し、8月22日(日)から新局舎で営業を行います。

◎移転先 金木町大字金木字朝日山348-3(北新町)

◎営業時間

	郵便	貯金・保険
平日	9:00～17:00	9:00～16:00
土曜日	9:00～12:30	9:00～正后

日曜日はお取扱いいたしません。第2・第3土曜日は貯金・保険はお取扱いいたしません。

連休の場合は、休日の郵便にかぎり、9:00～12:30までお取扱いいたします。

◎営業内容

郵便、為替貯金、保険年金

◎お問合せ先

金木郵便局 ☎53-2912



金木病院カルテ 35

母親教室への御案内

公立金木病院 日置 美佐子
主任助産婦

先日、あるお宅を訪問し、玄関先で用件を足して居た所「ただいま」と体格の良い、りりしい若者で制服姿の高校生が入ってきました。笑顔を含んだ、賢そうな顔をしている。瞬間、「あつ、あの子だ」と思いました。脳裏をかすめたのは、16年前青森市民病院勤務中に難産で漸く産れた、あの子でした。母親は私の心を察したのか、すかさず、「そう、あの時の子供です。もうこんなに大きくなりました」と話してくれました。当時を思い出し、再度後姿を見ました。玄関には今、脱いだばかりのズックがきちんと並べられていました。私の靴と比べてみるとはるかに大きい27cmでした。あのひ弱

な子がもう将来有望な青年へと成長していたのです。私が当院にお世話になって12年が経ちました。その間助産婦としての喜びや悲しみ、悔しさ等色々体験する事が出来ました。今でも一回毎のお産が走馬燈のように思い出されます。それだけ生と死と重り合い緊張の連続だったと言う事になります。結婚・妊娠・出産・育児と女性の長い人生の中でわずか20年の間に、これ程の事を経験する事になります。女性の成長にとって、家族や周囲



の人達の暖かな援助が必要なのは言うまでもありません。その援助の一つとして当院でも昨年四月より母親教室を始めました。妊婦であれば誰でも参加出来ます。本人以外や知っている妊婦さんにもお勧め下さい。夫婦のお揃いも歓迎致します。以前は時が経つと子供は産れるものかと思ってしまう方もあったでしょうが、それは違います。最愛の子供に巡り会える迄には種々の苦難を乗り越えなければなりません。その為に私達も微力ながらお力をお貸ししたいと思っております。妊娠・出産・育児などに関して正しい知識が得られます。解りやすく指導しておりますので、どうぞ気軽に

母親教室の内容

1. 妊娠の生理、検診の必要性・届出
 2. 妊娠中の過ごし方、妊婦体操
 3. 妊娠中の栄養、母乳のはなし
異常と不快症状
 4. お産の準備
 5. 楽なお産のために
 6. 産後の生活と育児、施設見学
- ◎開催日時
毎月第1、第3火曜日
午後2時～3時
- ◎開催場所
公立金木病院2階職員休憩室
- ◎受講料 無料

はじめまして



あんな
杏南ちゃん
7月3日生まれ
体重 3,650グラム
体高 細中
内海 宏昭さんの長女

よしちか
欣哉ちゃん
7月11日生まれ
体重 1,940グラム
体高 若松町
松尾 竹男さんの次男

今 義秀(義則)喜良市
栗原 直美(梅生)群馬県

おしあわせに

前田衣里奈(武光) " "

米塚 美南(弘敏) " "

松尾 欣哉(健) 金木

内海 杏南(宏昭) 嘉瀬

七月届出

戸籍の窓



参加して下さい。お子様の健やかな成長を祈りながら地域の母子衛生に力を注いでいる今日です。

おへやみ

(丸山 路生(重美)喜良市
(石戸谷美枝子(寅藏)神原
(加賀田 勝(勝則)中里町
(中村美紀子(政徳)嘉瀬
(山中 光(秀一)嘉瀬
(平山優香子(日出夫)五所川原市
(大佐賀尋嗣(幸雄)川倉
(加藤 章子(彰)稲垣村

木下 つね(90歳) 嘉瀬
濱田 誠治(75歳) " "
伊藤 ヨシ(73歳) " "
齊藤 カナ(80歳) " "
松川専五郎(87歳) " "
金子仁一郎(79歳) 金木
中谷 きせ(76歳) 川倉
脇神ハナヨ(82歳) 喜良市
工藤與右衛門(73歳) 川倉
吉村 スワ(85歳) 金木

人口と世帯

	7月末日現在	前年同月比
男	6,532	-115
女	7,097	-132
計	13,629	-247
世帯数	3,906	-6

あなたの善意



金木町音楽振興会(秋元和雄会長)では、「フ ラメンコ舞踊とギターの夕べ」を七月一日開催し、その益金の一部一万円を福祉事業の為に役立てて下さいと、金木町社会福祉協議会へ寄付されました。

係から

皆さんの身近でホットな情報をお待ちしています。役場企画室広報係まで。